

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 5 巻第 47 号

第 47 週 (11 月 21 日 ~ 11 月 27 日)

発行年月日:平成17年(2005年) 12 月 2 日

発行 行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

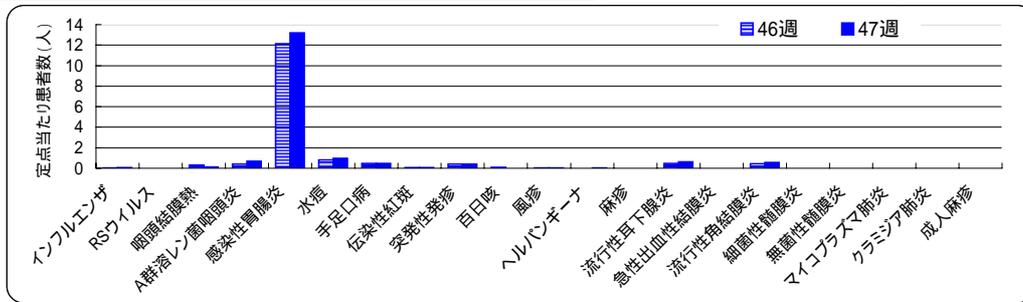
今週の感染症動向

感染性胃腸炎の発生は先週よりさらに増加

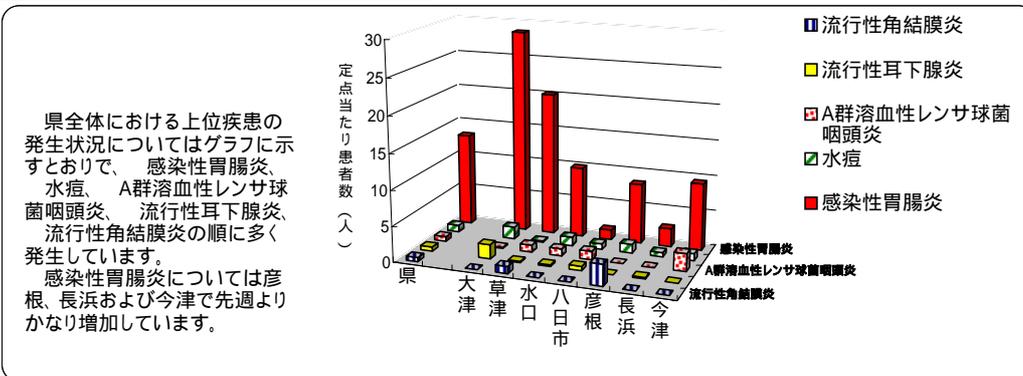
定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(11月14日～11月20日)の報告数よりさらに多くなっています。今週、増加を示した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、流行性角結膜炎等で、減少した疾患は咽頭結膜熱および百日咳です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。また、インフルエンザ患者については大津および彦根保健所管内から報告されています。

今週は全数報告感染症の届出はありませんでした。

定点把握の対象となる5類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の保健所管内別発生状況(定点把握対象5類感染症、第47週)



滋賀県における全数報告感染症の概要(平成17年第43～47週、H17.10.24～H17.11.27)

感染症類型	疾患名	1～42週の累積報告数	43～47週の報告年月日	概		要
				菌種、血清型等	推定感染地域	推定感染源(原因)・感染経路等
一類感染症	報告なし	0				
二類感染症	細菌性赤痢	7 ^(*)	報告なし			
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	12	報告なし			
四類感染症	A型肝炎	1	報告なし			
	オウム病	1	報告なし			
	デング熱	1	報告なし			
	レジオネラ症	2	H17.10.25		韓国	サウナ
	アメーバ赤痢	4	H17.11.1		不明	異性間性的接触
五類感染症	ウイルス性肝炎	2	報告なし			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	報告なし			
	後天性免疫不全症候群	7	H17.10.24 H17.10.26 H17.10.26	AIDS 無症候性キャリア 無症候性キャリア	中国 日本国内 日本国内	異性間性的接触 同性間性的接触 同性間性的接触
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	報告なし			
	急性脳炎	2	報告なし			

(*)1)検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分3件を含む

1) 全数報告の感染症(1類～5類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (47週)	累積報告数		平成16年報告数	
			滋賀 (47週)	全国 (47週)	滋賀	全国 ^(*)
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	^(*) 7	522	9	576
	腸チフス	0	0	47	2	66
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	12	3,447	21	3,640
4類感染症	E型肝炎	0	0	^(*) 37	1	34
	A型肝炎	0	1	^(*) 156	0	136
	オウム病	0	1	32	1	39
	デング熱	0	1	70	2	45
	マラリア	0	0	63	2	73
	レジオネラ症	0	3	251	0	162
5類感染症	アメーバ赤痢	0	5	630	8	580
	ウイルス性肝炎	0	2	258	5	299
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	140	0	167
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	51	1	53
	後天性免疫不全症候群	0	7	1,041	6	1,119
	ジアルジア症	0	0	74	2	85
	梅毒	0	0	484	4	516
	破傷風	0	0	101	2	100
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	2	61	0	49
	急性脳炎	0	2	^(*) 162	1	164

* 1:平成16年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

* 2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分3件を含みます。

* 3:平成17年第45週現在の報告数です(iDWR掲載の報告数を参考にしています)。

全国における全数報告感染症の発生状況 - iDWR2005年第45週、11/7～11/13より -

1類感染症: 報告なし	4類感染症: 日本脳炎 1例	5類感染症: 急性脳炎 1例
2類感染症: 細菌性赤痢 5例	A型肝炎 3例	ウイルス性肝炎(B型) 2例
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 53例	レジオネラ症 8例	後天性免疫不全症候群 4例
4類感染症: オウム病 2例	エキノコックス症 1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例
つつが虫病 15例	レプトスピラ症 2例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1例
デング熱 1例	5類感染症: アメーバ赤痢 8例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例
日本紅斑熱 3例	ジアルジア症 3例	
	梅毒 4例	
	破傷風 1例	

2) 定点把握の対象となる5類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。
* 疾患により定点数は異なります。

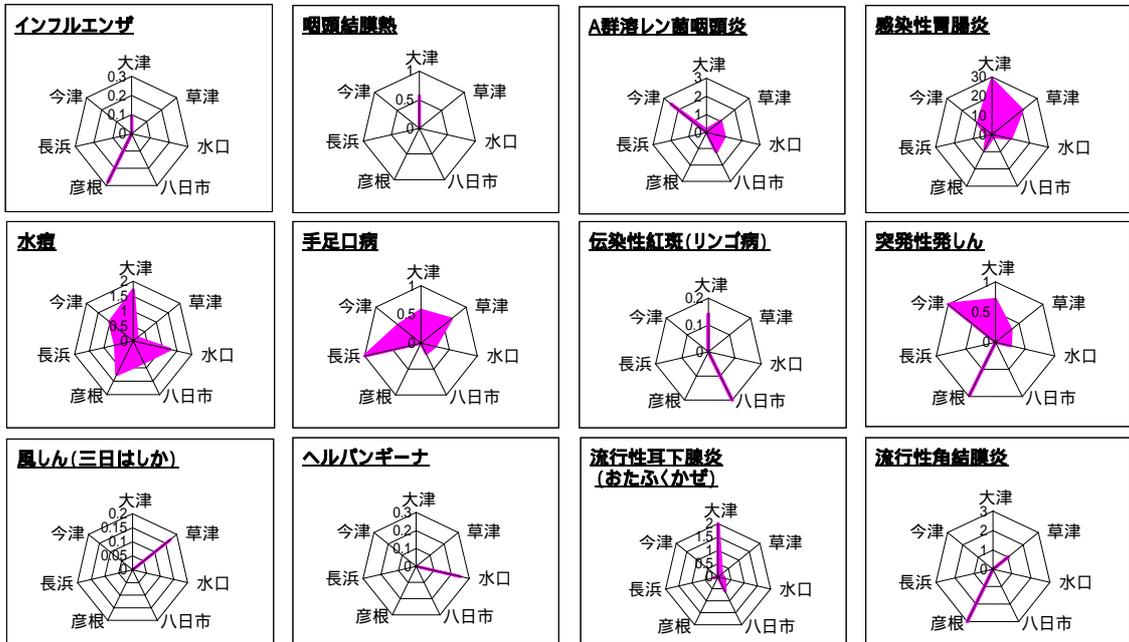
(1) 疾病別・週別発生状況(第42～47週、10/17～11/27)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	42週		43週		44週		45週		46週		47週	
	10/17～	10/24～	10/31～	(11/7～)	11/14～	11/21～	43	44	45	46	47	
インフルエンザ	0	0	0	0	0.04	0.06						
RSウイルス感染症	0	0	0.06	0	0	0						
咽頭結膜熱	0.24	0.15	0.24	0.27	0.30	0.12						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.48	0.30	0.36	0.33	0.42	0.67						
感染性胃腸炎	1.55	3.94	5.79	8.03	12.12	13.18						
水痘	0.36	0.33	0.52	0.73	0.82	0.97						
手足口病	0.33	0.30	0.36	0.15	0.48	0.48						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.03	0	0.03	0.06	0.06						
突発性発しん	0.45	0.64	0.55	0.67	0.39	0.42						
百日咳	0	0.03	0.03	0.03	0.09	0						
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0.03	0.03						
ヘルパンギーナ	0.15	0.15	0	0	0	0.03						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.67	0.73	0.48	0.61	0.48	0.61						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.14	0.29	0.14	0.14	0.43	0.57						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.29	0.29	0	0	0						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第47週、11/21～11/27)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)			
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津				
インフルエンザ	0.06	0.09	0	0	0	0.29	0	0				
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0				
咽頭結膜熱	0.12	0.57	0	0	0	0	0	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.67	0.14	1.00	1.00	1.20	0	0	2.50				
感染性胃腸炎	13.18	28.71	20.17	10.00	1.40	8.50	2.60	9.50				
水痘	0.97	1.71	0.17	1.25	0.80	1.25	0.60	1.00				
手足口病	0.48	0.57	0.67	0.25	0.20	0	1.00	0.50				
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.14	0	0	0.20	0	0	0				
突発性発しん	0.42	0.71	0.33	0.25	0	1.00	0	1.00				
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0				
風しん(三日はしか)	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0				
ヘルパンギーナ	0.03	0	0	0.25	0	0	0	0				
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0				
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.61	2.00	0.17	0.25	0.60	0	0.20	0				
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
流行性角結膜炎	0.57	0	1.00	0	0	3.00	0	0				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0				
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0				

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



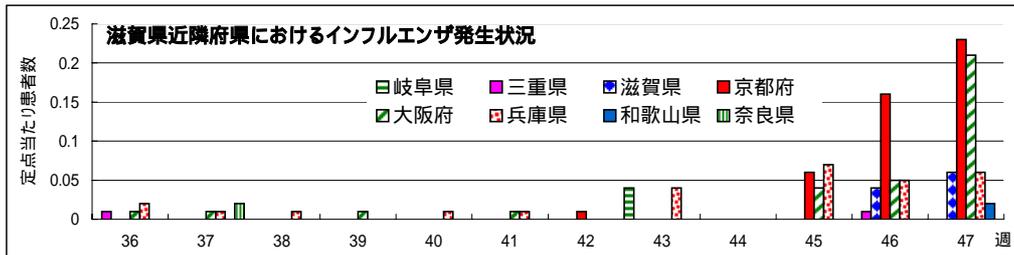
今週の発生状況:

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は水口、八日市および今津で、水痘は大津で先週よりかなり増加しています。流行性角結膜炎は彦根からの報告が多くなっています。また、インフルエンザについては、今週は大津および彦根から報告されています。

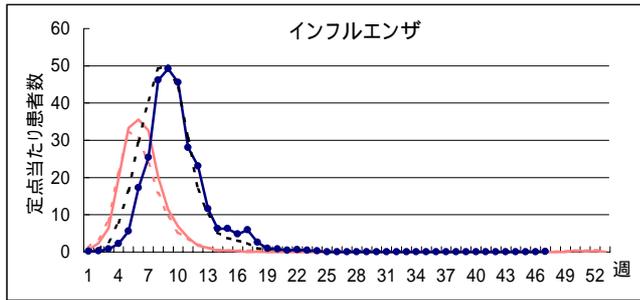
滋賀県近隣府県におけるインフルエンザの発生状況

- 平成17年第36～47週、H17.9.5～11.27 -

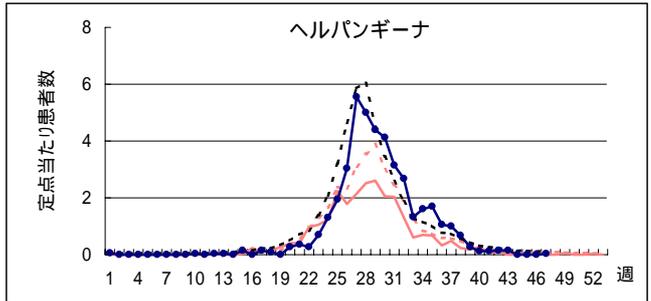
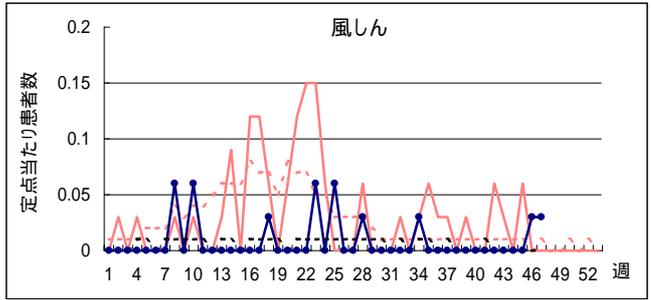
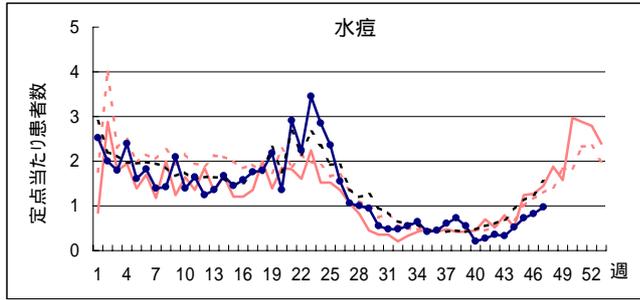
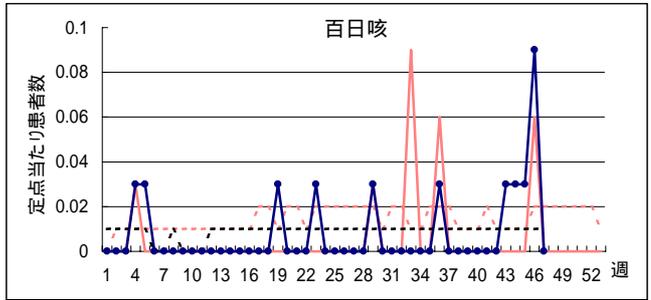
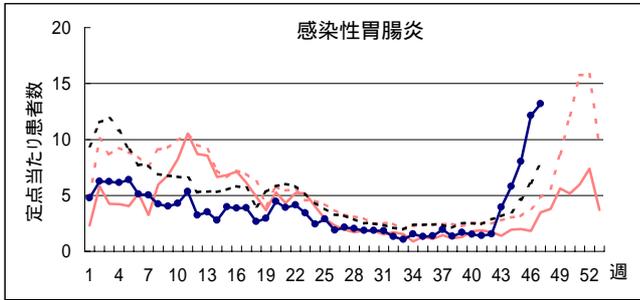
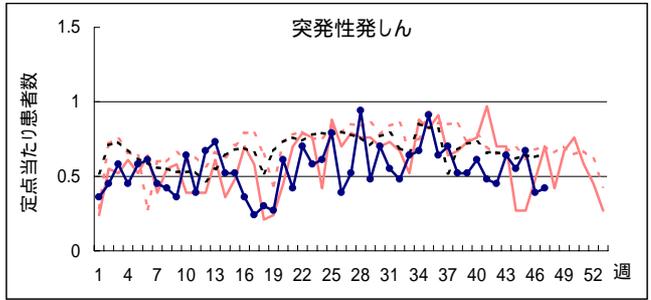
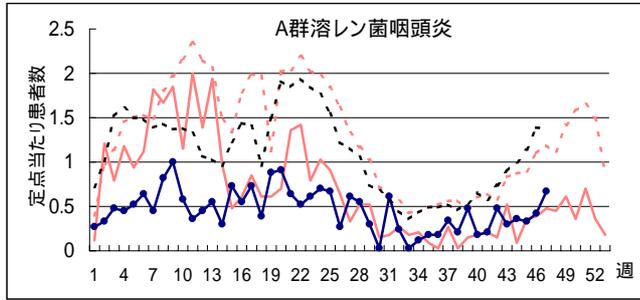
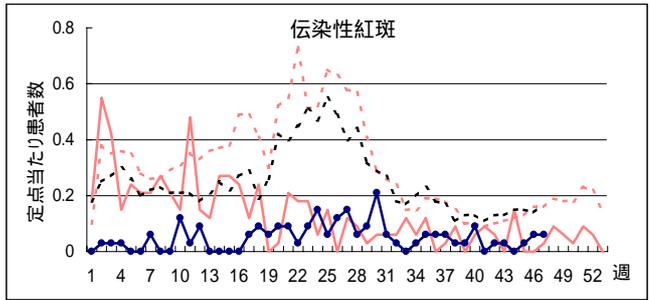
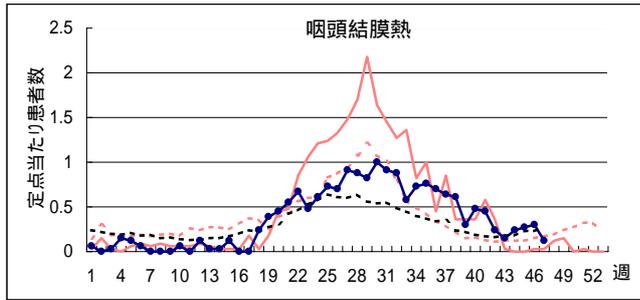
平成17年第36～47週の滋賀県近隣府県におけるインフルエンザの発生状況についてみると第36～43週は散発的な発生となっていました。第45～47週においては増加傾向を示しています。特に、京都府および大阪府においてはかなり増加しています。滋賀県においてもやや増加しています。



疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第47週、H17.1.3～H17.11.27)



H16 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H17 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第47週、H17.1.3～H17.11.27)

H16 〔 滋賀 ———— 全国 〕
 H17 〔 滋賀 ●——● 全国 〕

